

環境の保全及び創造

○環境保全対策事務

担当：総務部 市民環境課 環境係 Tel.39-2308

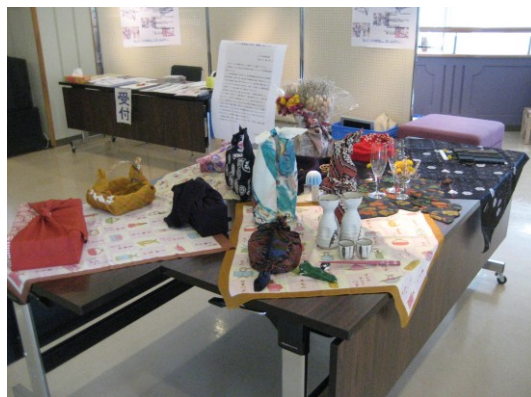
この事業には
857万円
の予算を計上しています。

富良野市民が健康で文化的な生活を営む上で、必要とする快適で良好な自然環境を守るため、川や空気の汚れ具合の測定を実施し事業所や団体、市民の皆さんが環境について話し合う機会づくり、地域での環境美化活動などの支援を行い、市民の環境意識高揚に努めています。

また、平成 23 年度から始まる新たな環境基本計画の策定を進めます。

《主な取り組み》

- ・環境基本計画策定
- ・富良野市環境審議会
- ・ふらの市民環境会議
- ・環境美化運動



環境展の様子

ごみの減量と資源リサイクル

○ごみ収集経費

担当：総務部 市民環境課 環境係 Tel.39-2308

この事業には
8,531万円
の予算を計上しています。

富良野市内でのごみ収集は、清掃事業者に委託して行っています。

分別の良くないごみが出されていた場合は、再度分別をしていただくために、注意を促すステッカーを貼り付け、正しい分別をお願いしています。

平成 22 年度も、ごみの分別ルールを守った排出をお願いします。



清掃事業者による収集の様子

ごみの減量と資源リサイクル

○ごみ減量と再資源化啓発事業

担当：総務部 市民環境課 環境係 Tel.39-2308

平成 21 年度中に富良野市で出されたごみのうち、約 90%がリサイクルされました。平成 20 年度末の全国平均(環境省調査)が 20.3% ですから、富良野市のリサイクル率は驚異的な数値と言えます。市民のみなさまの適切な分別が、ごみの減量や様々な資源の保護につながっています。

今年度も、ごみカレンダーやごみ分別辞典などを作成し、環境に対する意識やリサイクル率の維持向上に努めます。

この事業には
216 万円
の予算を計上しています。



○ごみ処理の広域分担処理

担当：総務部 市民環境課 環境係 Tel.39-2308

市内で収集されたごみの処理が効率よく行えるよう、近隣の町村と相談し、それぞれが分担する処理項目を決め、分担してごみ処理を行っています。

処理を担当する市町村には、処理を依頼する側の市町村から、その処理量に見合った負担金を支払っています。

この方法により、各市町村は処理を担当する品目の設備だけを持てばよいこととなりますので、経費を少なく抑えることができるようになりました。

この事業には
3,465 万円
の予算を計上しています。



小動物焼却施設 (南富良野町)

資源回収センター運営事業 (負担金) 1,360 万円 (継続事業)

施設所在地：中富良野町

処理品目：プラスチック類、ペットボトル、空きびん

動物の死体処理施設維持事業 (負担金) 129 万円 (継続事業)

施設所在地：南富良野町

処理品目：小動物の死体処理

衛生用品処理委託事業 (負担金) 1,976 万円 (継続事業)

施設所在地：上富良野町

処理品目：衛生用品

し尿処理

○合併処理浄化槽設置整備事業

担当：総務部 市民環境課 交通生活係 Tel.39-2308

この事業には
269万円
の予算を計上しています。

下水道整備区域外の地域の居住用住宅を対象に、炊事・洗濯・お風呂などで使われた生活雑排水とし尿を合わせて処理する合併処理浄化槽を設置する工事費の一部を補助する事業です。

この設置により、水洗トイレの設置が可能となりますので、家庭生活の快適性が大きく向上します。

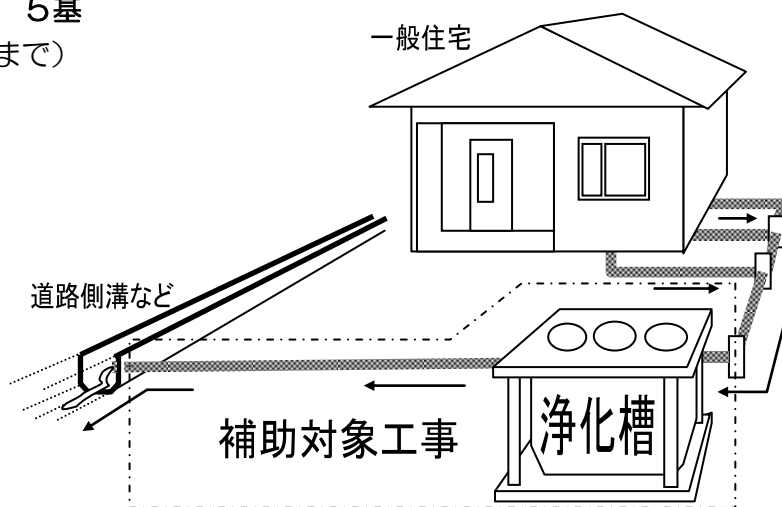
設置後は、メンテナンスを適正に行うことにより小型ながら大規模な下水道処理場と同じ浄化性能を発揮しますので、河川的环境保護に大きく役立ちます。

補助の内容は、設置する浄化槽の規模により下記の表に定める額を限度として補助します。

浄化槽規模	補助限度額	人槽算定（参考）
5人槽	375,000円	延床面積 130㎡以下
6～7人槽	438,000円	// 130㎡超
8～10人槽	555,000円	2世帯住宅

国の負担額	81万円
富良野市の負担額	188万円

平成22年度整備予定基数 5基
(実施期間：平成24年度まで)



総合防災

〇地域防災事業

この事業には
265万円
の予算を計上しています。

担当：総務部 総務課 総務法制係（防災担当） Tel.39-2300

地域の防災力を高めるためには、人が人を守ることが重要であることから、積極的なコミュニティが形成されていることが大切です。そこで、市は地域の防災力の向上と災害に強い地域づくりを目指すことを目的に以下の施策を進めます。

- 〇富良野市洪水ハザードマップに基づく住民避難訓練の実施
- 〇自主防災組織の形成に向けた啓発
- 〇災害時要援護者の避難支援プラン（全体計画）の策定

【平成 22 年度の主な事業費】

防災対策啓発資材の提供	21 万円
避難所施設標識の設置	18 万円
防災用発電機の購入	152 万円
防災行政無線維持管理費	53 万円
市防災訓練費用	10 万円

平成 21 年度 市防災訓練風景



防犯・交通安全

○交通安全啓発事業

担当：総務部 市民環境課 交通生活係 Tel.39-2308

この事業には
738万円
の予算を計上しています。

安全で快適な交通社会を築くために、市民一人ひとりが交通ルールを守り、交通安全に心がけてもらえるように効果的な交通安全運動を組織的・継続的に展開していきます。

- 主な取り組み
- 交通指導員 48 名による交通安全活動
 - 4 期 40 日の全国・全道交通安全運動の実施
 - 地域交通安全運動の実施
 - 交通安全教室の開催
 - 音楽行進などのイベント交通指導



富良野市交通事故推移（10 年間）

	H12 年	H13 年	H14 年	H15 年	H16 年	H17 年	H18 年	H19 年	H20 年	H21 年
発生	93	104	74	77	100	80	73	59	41	52
死者	3	7	3	2	2	1	0	3	2	1
傷者	122	138	99	103	136	125	93	86	54	66
物損	1,157	1,035	951	957	926	875	811	835	710	695

○防犯灯設置費補助金

担当：総務部 市民環境課 交通生活係 Tel.39-2308

この事業には
86万円
の予算を計上しています。

犯罪のない明るいまちづくりを進める目的で防犯灯の設置費について、その一部を補助しています。

補助の対象は、道路・路地・広場などの防犯上照明を必要とする場所に設置されるものです。広告灯・ネオン灯・商店街の街路灯は対象となりません。

補助金額は、工事費の 40%以内（100 円未満切り捨て）となります。

平成 22 年度補助予定基数 47 基

防犯・交通安全

○防犯灯維持費補助金

担当：総務部 市民環境課 交通生活係 Tel.39-2308

この事業には
355万円
の予算を計上しています。

市内の町内会、維持管理を目的として組織される組合などが、犯罪のない明るいまちづくりを進める目的で設置した防犯灯の維持費について、その一部を補助しています。

対象となる防犯灯の器種は、蛍光灯・水銀灯・白熱灯であり、毎年4月より翌3月までの当該電灯に係る電気料金を対象としています。

補助率は経費の40%以内(100円未満切り捨て)となります。

平成22年度補助予定基数 約 1,950 基



消費生活

この事業には
474万円
の予算を計上しています。

○消費生活センター・女性センター運営事業

担当：総務部 市民環境課 交通生活係 Tel.39-2308

消費生活センターは、消費生活の多様化・高度化・複雑化に対応して、市民の消費生活の安定と向上のため、情報の提供や苦情等に対する相談を行っています。

女性センターは、女性の生活文化の向上と社会参加を応援するため、女性団体の活動の場として会議室の貸し出しを行っています。(男性の団体も利用できます。)

主な取り組み

- ・消費モニターによる価格調査
- ・契約の解約、苦情など消費生活相談
- ・悪質な販売など不当な販売活動に関する啓発、情報提供
- ・女性センター会議室の貸し出し

○消費生活相談件数 196 件 (平成 21 年度)

○女性センター会議室利用状況 述べ 628 団体 6,562 人利用 (平成 21 年度)
大会議室 (103 m²)・中会議室 (52 m²)・第1会議室 (30 m²)・第2会議室 (18 m²)